

ふくつ

CONTENTS

●平成29年度補正予算	P.2
●副市長人事案	P.2
●委員会審査報告	P.3
●市長に問う(一般質問)	P.5
●所掌事務調査	P.13

駐輪場・駐車場の指定管理に 福津市シルバー人材センターが決定



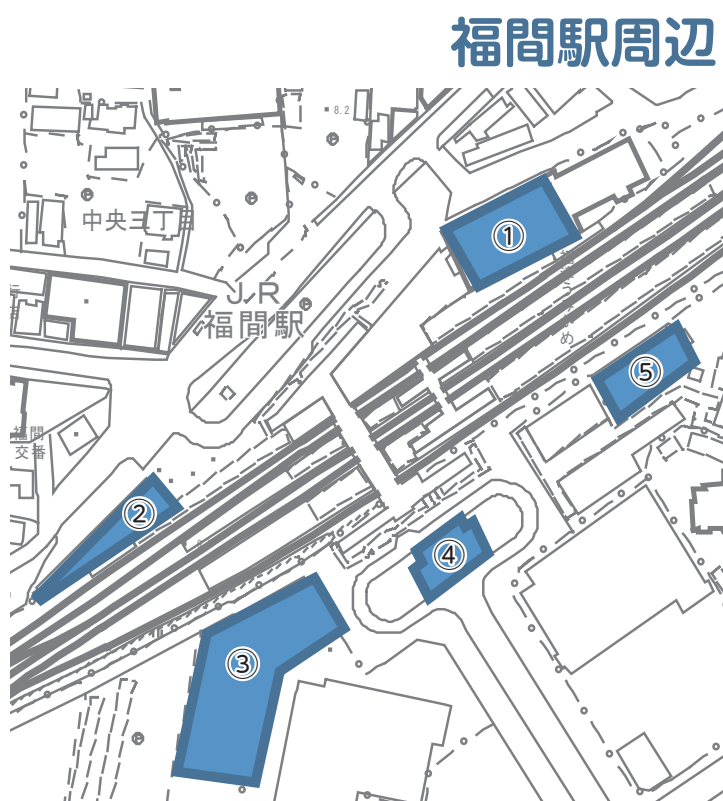
①みやじ口第1号駐輪場



②みやじ口第2号駐輪場



③さいごう口第4号駐輪場



④さいごう口自動車駐車場



⑤さいごう口第3号駐輪場

平成29年度一般会計補正予算 3978万円を追加し

総額 219億4415万円

繰越明許費補正

郷づくり推進事業費で活動拠点整備事業 6982万円

古墳公園史跡等購入事業 3億3022万円

防犯灯維持管理事業費 修繕箇所の増加により修繕料として 100万円

郷づくり推進事業費 神興東郷づくり活動拠点の軟弱地盤対策と排水先の変更など 993万円

ボランティアセンター等整備事業費 中央公民館図書室跡へ移動。改修工事費、備品購入費など 747万円

病児保育事業費 国の要綱改正によるもので見込み額を計上。病児病後児保育事業補助金 155万円

橋梁長寿命化修繕事業費

国道3号線津丸跨道橋の橋梁修繕工事費 2240万円

都市計画策定事業費 準都市計画区域の建築物の用途制限に特定用途制限地域指定業務委託料 429万円

小学校学習環境整備事業費 室内調度器具、事務用器具、教養体育器具、教材備品、雑品など 977万円

中学校学習環境整備事業費 室内調度器具、事務用器具、教材備品、雑品など 202万円

文化財発掘調査事業費 福岡南4丁目の宅地造成に伴う発掘調査現場作業員賃金など 612万円

人事案件に同意

《副市長》

まつだ みゆき 松田 美幸氏

生年月日 昭和33年11月18日
任期 平成29年12月13日から平成33年12月12日まで



略歴

- ・昭和56年3月 二重大学卒業
- ・平成3年5月 米イリノイ大学修士課程(MBA)取得
- ・平成14年4月～平成22年3月 総務省政策評価委員会・独立行政法人評価委員会委員
- ・平成27年3月～平成29年3月 福岡県観光審議会委員
- ・平成27年6月～平成29年12月 福岡県男女共同参画センターあすばる館長
- ・平成27年7月～平成29年12月 福岡県総合計画審議会委員

陳情

平成30年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてお願い

公益社団法人

日本理科教育振興協会

会長 大久保 昇

福津市議会議員選挙を年末年始に実施しないことを求める陳情書

神興地域郷づくり推進協議会

理事会

代表者 掛札 剛一

市議会議員選挙を年末年始に実施しないことを求める陳情書

福岡地域郷づくり推進協議会

会長 小山 勝昭

市議会議員の定数削減を求める陳情書

考える市民の会福津

会長 渡辺 智博

市体育施設及び武道館の 指定管理者を決定

全員賛成で可決

現指定管理者である、福津市体育協会の指定期間満了に伴い、新規にNPO法人スポーツニュースターの選定に伴う議案。

主な質疑

問 指定候補者は、実績として類似施設の管理運営の経験が全くないが、過去に実例はあるのか。また、未経験のほうが優れているとの判断は。

答 過去に実績はないが、管理体制の充実という提案が評価されている。

問 市内での体育協会が果たすべき様々な役割に影響は出ないか。

答 今後の活動については、体育協会と協議をし、事務局機能をどこに置くかなど検討しながら進めていく。



体育施設の充実を

市営住宅入居者の収入 報告義務を緩和した

全員賛成で可決

主な質疑

問 報告の請求に応じることが困難とは、どんな事情を言うのか。

答 認知症、知的障害者、精神障害者、また、それに準ずる状況で毎年度の収入を申告する義務を果たせない方が対象となる。

問 高額所得者で申告がない場合は、雇用者などの調査を行い家賃の決定をするのか。

答 未申告者は市で調査して近傍同種家賃に、また、認知症で申告義務が緩和された場合、市で調査して所得に応じた家賃にする。高額所得という点では、特段今までと変わらず、その所得を認定する。

個人情報を見直し 要配慮者の非公表追加

全員賛成で可決

主な質疑

問 条例改正に伴い利用の範囲が変わったのか。また、要配慮者個人情報においてグレーゾーンの拡大と考えるが、具体例は。

答 範囲は変わらないが、具体化、明確化された。非公開にすべき部分が曖昧なので、法律上での概念を付加し位置づけした。詐欺などの被害者情報が公表されると、悪徳業者が同じ人に誘いを行う等。

請願1号(採択)

代表請願者 津屋崎郷づくり
推進協議会会長 山脇 清
紹介議員 西野 正行
永島 誠也

【旧魚正跡地に関する請願】

1. 市が当該土地および建物の権利を取得して頂きたい。
2. 取得後は、当該建物を解体し、跡地の整備をお願いする。
3. 跡地整備後は、一般市民や津屋崎千軒来訪者に、憩いの場として開放、提供して頂きたい。

請願2号(不採択)

代表請願者 山脇 清
紹介議員 西野 正行

【市議会議員選挙の年末年始に実施される日程を変更することを求める請願】

1. 市議会議員選挙の年末年始に実施する日程を変更すること。
2. 平成30年12月議会定例会までに市民に対し明確な回答を示すこと。

主な意見

反対 議員、議会が選挙管理委員会に変更や実施日を指定することとは、法の体系から無理である。請願の願意が理解できない。

賛成 期間内であれば、年末年始、12月30日に限らず、後日でも実施できると判断した。

(総務文教委員会審査報告)

学童保育所の建物ごとの 名称・定員を明確に決定

全員賛成で可決

福津市学童保育所条例を改正。
学校ごとに、全員の定員を決めていた条例を津屋崎学童保育所（第3・第4）を増設するのに合わせて、既存の学童保育所についても建物ごとの名称及び定員を明確にするために改正する。

主な質疑

問 学童保育所をこのように分けた目的と理由は。

答 学童保育所の増設に伴い、その都度定員を増加してきている状況がある。建物ごとの定員を明確にする必要性が生じている。

問 津屋崎第3・第4ということだが、2箇所建てるのか。

答 建物は1つ。教室ごとに補助金の関係があるので、2教室分であることを明記している。



津屋崎学童第3・第4予定地

「控除対象配偶者」を 「同生計配偶者」など 税条例を改正

全員賛成で可決

税法の一部を改正する法律の公布に伴い、関連する福津市税条例を改正する。

その他の議案

福津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例を改正

（市民福祉委員会審査報告）

ボランティアセンター 条例の制定

全員賛成で可決

ボランティアハウスが中央公民館内に移動することに伴い、支援機能強化を盛り込んだ条例を制定した。

問 今までの活動状況を踏まえて検討をなされたのか。

答 課内等で検証を行い、①情報収集発信機能②活動紹介仲介機能③各種相談支援機能④普及啓発機能を強化することとした。

問 新しい場所での運営体制は。

答 コーディネータースタッフ・ボランティアスタッフを含め、常時2名体制を考えている。



移転するボランティアハウス福岡

自転車駐車場の指定管理者に福津市シルバー人材センターが決定

全員賛成で可決

自転車駐輪場・駐車場を管理する指定管理者を3年で選考をしている。今回は他の応募者がなく現在管理をしている福津市シルバー人材センターに決まった。

問 指定管理者制度は経費の節減の要素があるが、1社では効果がないのではないか。

答 今回の指定管理料は市で積算した最低経費内で提案されている。問題はない。

勝浦・浜田地区農地改良 区域の字の変更

全員賛成で可決

浜田地区の農地整備が完了することに伴い、整備後に発生した字区域の変更を行った。

（建設環境委員会審査報告）



一般質問



1. 江上 隆行 P6

- ①「福津市スポーツ振興計画」における取組みの検証と分析結果および今後の本市のスポーツ推進の取組方針について問う

2. 榎本 博 P6

- ①福津市教育総合計画について
- ②市の財産の有効活用について

3. 碓野 九州男 P7

- ①福岡県消防学校跡地利用について
- ②福津市のイベントでは安全対策を
- ③空き家対策について
- ④生活保護の申請について

4. 蒲生 守 P7

- ①高齢者の外出支援について
- ②広報ふくつの取組みについて

5. 井上 聡 P8

- ①地域交通体系の見直しの進捗状況は
- ②各イベントへの市の関わりと支援策は
- ③地域防災計画の今後の取組みは

6. 中村 清隆 P8

- ①福津市立全小学校の特別支援学級について
- ②子育て世代包括支援センター(母子健康包括支援センター)の整備について

7. 永島 誠也 P9

- ①防災訓練および市の防災マップの今後の計画は
- ②公共施設のトイレの状況は

8. 吉水 喜美子 P9

- ①小中学校の教室の確保について

9. 戸田 進一 P10

- ①国民健康保険制度の広域化にあたり、国民健康保険税率のありかた及び市民の健康づくりについて
- ②勝浦小学童保育所の抜本的な見直しを

10. 横山 良雄 P10

- ①市営納骨堂について
- ②福岡中学校の建設について
- ③本市検討課題の進捗について

11. 豆田 優子 P11

- ①多様な性の人権教育について
- ②防災に女性の視点を
- ③乳児から成人までの切れ目のない相談・支援体制について

12. 米山 信 P11

- ①「子育て世代包括支援センター」の整備について

13. 永山 麗子 P12

- ①市民に喜ばれる図書館整備を
- ②健康で安心して暮らせるまちを目指した取組みを

14. 大久保 三喜男 P12

- ①産廃関連資材置き場拡張問題について
- ②水門事故による農作物の塩害の対応について

15. 永島 直行 P13

- ①各小中学校の運動場の排水対策について
- ②市道の維持管理について
- ③「新原・奴山古墳群」について
- ④市長公用車について

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。

質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定例会後の4年間です。

(検索方法は15ページに掲載)



福津市古墳キャラクター
ふんちゃん



江上 隆行

福津市の計画は 誰のために作るのか

市民のためである

問

①平成21年度から28年度が計画期間の福津市スポーツ振興計画は既に終わっているが、本計画の検証と分析結果はどうなっているか。

②福津市が作る計画とは、そもそも何なのか。

③計画は誰のために作るのか。

④計画とは、それをきちんと実施すれば市民が恩恵に浴するものであるという理解でよいのか。

⑤なぜ、スポーツ振興計画を作る必要があったのか。

⑥振興計画では数値目標がない。次のスポーツ推進計画では数値目標の設定を提言するがどうか。

⑦今後きちんと進捗管理を行うための教育長の決意はどうか。

答

①本市のスポーツ振興計画は機



福津市の計画行政は大丈夫か

今後の幼児教育の あり方は 質の高い幼児教育を 進めていきたい



榎本 博

問

福津市総合教育会議で委員から、大和保育所と神興幼稚園が私立保育所・幼稚園のお手本になってほしいと言われていた。市の考えは。

答

新たにこの5年をかけて、今後の流れの中でどういう形が一番望ましいのかを考えていきたい。

問

特別支援学級の教師の不足、教室の配置、また教師の長時間労働の問題も出ていると聞く、市の考えは。

答

今非常に厳しい状況で、学校長と協議しながら、一番いい方法を



ICTを活用した学校の授業

問

宗像市で行われた研究発表で、電子黒板などICTを活用した授業が行われていた。映像機器も福津市と比べて揃っていた。また不足している指導員やスクールカウンセラーの人材確保など、次期教育総合計画策定と同時に教育予算の確保に努める必要があると考え。市の考えは。

答

建物の老朽化も進んでおり、効率的な補助金等も利用して学校のハード面の整備もしながら、幼児教育や特別支援教育の充実とソフト面は、大変重要だと思っている。



礎野 九州男

空き家が不審火で全焼・・・対策を

不審火かどうか調査中
消防の見回りを強化

問

放火や不審火が全国で5814件・出火の原因が6件に1件が不審火。11月、原町で空き家と思われる家屋が不審火で全焼した。警察は2日間 にわたり検証しているが、不審火かどうかの報告を警察から受けているのか。

答

この火災は不審火かどうか警察で検証している。日ごろから消防団による夜警などを行い、火災予防の啓発に努めていた。

今後は、警察による夜間パトロールをお願いし、行政としては自分たちの地域は自分たちで守るという考えのもとに、消防団や自治



全焼した原町2区の空き家

会防災組織、郷づくりの青パト巡回を密にしてみようなど協力していく。さらには地域の情報をもらい積極的に対応していく。

消防学校跡地の利用について

問

福岡県消防学校跡地を宗像地区消防本部や福岡分署の建て替えのために、土地確保が必要であり県と協議をすべきではないか。

答

福岡県は「公用・公共目的であれば優先的に地元市町村の利用について協議を進める」と知事は答弁している。県とも話をしたことがある。ただ宗像地区事務組合の検討委員会の中で消防力の整備方針・場所など検討されると思う。

買物支援イロイロ便終了後は

新たな買い物支援の
あり方を進める

問

免許を返納した高齢者が初めに不便を感じるのが買物。商品を自宅まで配達をする「イロイロお届け便」もいいが、自分で選びたい、だからそこに行きたいと言っているのが高齢者の声。年間300万の予算を使っていた「イロイロお届け便」がうまくいかなかったものでやめる、それで終わりなのか。

答

予想を下回る利用者で5年間のモデル事業をもって終了とする。今後、利用頻度のあった方に対しアンケートをお願いし、買い物困難者に対しては最後までフォローをする予定。



蒲生 守



5年間の買物支援事業終了

問

イロイロお届け便の事業内容には商工活性化の意味合いもあったが今後は。

答

たずさわっていた商店会からの提言で、移動販売が望ましいとあったが、初期投資もかかるため慎重に検討したい。商工振興には、なりえないとの結論。

問

社会福祉協議会が音頭を取り、高齢者の年末の買物支援を試行的に行う。市でも検証し、取り組んではどうか。

答

今後高齢者サービス課とこれまでも移動販売を担当していた地域振興課で協議し、新たな買物支援制度を進めていかなければならない。



井上 聡

地域防災計画の 今後の取組みは

自主防災組織等協議で
充実した防災訓練に

問

安心・安全のまちづくりのため、自助、共助、公助の確立、減災の環境整備、防災訓練の実施などがあるが、大雨、火災など市の体制整備は。また、本年度の全市一斉防災訓練の結果は。

答

大雨には、梅雨入り直前に、水防会議を開き、危険箇所を巡視。火災体制で消防団は、機関員訓練、火災防御訓練、林野火災訓練などを行なう。今回の全市一斉防災訓練は、市民と職員共同の訓練を一部の地域で避難所の開設訓練に取り組んだ。今後は早い段階から自主防災組織等協議を重ね、さらに充実した訓練にしたいと思う。

問

県港湾課の津波浸水想定福津市地図で、浸水箇所への考えは。

答

県が市の意見を聞き、指定区域を認定する形になり、市は、平成30年度末までに防災マップを新たに作り、周知を図りたい。

問

有事避難誘導マニュアルの作成を急ぐべきではないか。

答

近年の状況を見ると、早急なる作成が必要かと思う。

問

非常用持出し袋の所有の考えは。

答

一家に1個はぜひ持ってもらいたいと思っている。



水位表示の周知を（西郷川四角橋他）



中村 清隆

特別支援学級の 課題解決を

学校現場の要望に十分
協議し進めていきたい

問

特別支援教育支援員数は、不足している。今後、増員や勤務条件の改善はないのか。

答

福岡都市圏内の他市を調査し、改善や見直しを進めてみたい。

問

スクールカウンセラーの勤務時間等の状況は。

答

非常に短い時間数。学校支援の学校、チーム学校を目指す上でもスクールカウンセラー等の拡充は、今後、必要になると思う。

問

体温調節をしにくい障がいを持つ児童の教室に、空調設備を。

答

教室環境に起因する体調面や精神面での悪影響を受けないよう、空調設備を設置するなど、配慮が必要だと感じている。

▼子育て世代包括支援センターについて

問

設置の検討はされているのか。

答

センターの開始時期は平成32年度になっていくと思う。

問

地方創生交付金の活用ができれば、専門職は増員できるのか。

答

人事、総務課、財政課と十分協議しながら、増やす方向でお願いしていきたいと思う。



ランチルームや普通教室を区切り、
風通しも悪い特別支援学級の教室



永島 誠也

防災訓練の今後は

充実した訓練になるように取り組みたい

問 今回防災訓練が終わって今後の訓練にどう反映させるか。

答 一斉防災訓練では、郷づくり・自治会等の自主防災組織の方々に精力的に取り組んでもらい感謝をしている。次年度に向けて各自主防災組織と協議を重ね、さらに充実した訓練になるように取り組みたい。自主組織の無い地区には、各種会議の場で積極的に自主防災組織の組織化を働きかける必要性を感じている。

問 今回の訓練で防災無線の聞きづらい所はなかったか。



赤ちゃんを入れる洋式トイレへ

答 聞きづらいとの指摘があった。反省として災害無線だけでなくあらゆる方法で対応する。

問 本市において災害時のペットの問題はどう考えているか。

答 災害時の動物救護計画の策定準備を進め現在情報収集中である。

▼公共施設のトイレについて

問 和式から洋式に変える考えはないか。

答 公共施設内のトイレの洋式化は、考えていかなければならない課題と認識している。

小中学校の教室の確保について

児童生徒数増でも必要教室を確保する予定

問 平成30年度の児童推計が提出され、福岡小、福岡南小、津屋崎小が学級増の予定である。今後どう対応していくのか。

答 福岡小は保有教室が29教室あり30年度は28教室を想定し、31年度は31学級を想定しており、現在の工事後、保有教室は41教室に増加する。福岡南小は保有教室が36教室で30年度は40教室を想定し、本年度中にリース校舎を5教室増加する。津屋崎小は保有教室31教室で30年度は31教室を想定し、特別教室を改修し確保する。31年度に対応するため30年度中にリース6教室を計画する。



勝浦小学校2年生 児童数 16人
(特認児童数 10人)

問

私が危惧することがある。①福岡市人口が増え、転入者が増加して教室が足りないのも一時的なことで、ピークの予測を誤ることなく、増築をしてその後、空き教室が増えることのないよう情報収集をして、教室数を見極めてほしい。②児童生徒の増加している期間に、上西郷小学校への校区の弾力化や特認制度を設けるなどして、いつまでも上西郷小学校と勝浦小学校が存続できるように、福岡南小の通学区域の弾力化について伺う。

答

大規模校や小規模校に対する対策を審議するための審議会を立ち上げ議論する。



戸田 進一

勝浦小学童の施設 見直しを

地域交流センターの中に
設けるのがベストだ

問

勝浦小学童保育所は、勝浦小学校の音楽室を使用して開所している。そのため、施設・設備上の制約があり困っている。

勝浦小学校は、市内在住の児童であればどこからでも転入学できる特別認可制度をとっており、小学校や地域の活性化に大いに寄与している。そのこともあって、現在、学童保育所の利用者は、設立時の倍にもなった。

特別認可制度のためにも学童保育所の抜本的な見直しは大事な条件と思うがどうか。また、今後、老朽化した公民館を建て替え、地域交流センター（郷づくり拠点）建設の計画もある。

答

健診項目充実を検討する。

問

30年度より制度変更され、今でも高い国保税の値上げの危険がある。今すべきことは市民の健康づくりの施策（特定健診項目の充実や保健師の増員）を強めることだ。

▼国民健康保険制度広域化にあたり

答

特別認可制度は地域の活性化に寄与しており、特別認可制度の学校には、なおさら学童保育所は必要だ。よって地域交流センター等の中に学童保育所のスペースを設けるのが一番ベストな選択だ。市役所内部で、もう一度協議する。

今こそ見直す時期ではないか。



勝浦小学童保育所（勝浦小学校の音楽室）



横山 良雄

市営納骨堂の建替 えは加入者配慮を

計画策定後、周知期間を
確保するよう努める

問

築56年になる市営納骨堂の建替え計画は進んでいるのか。

答

今年度は納骨堂加入者の台帳整備を行い、次年度に建設準備委員会を発足し、時期、規模、費用などを検討予定している。

問

建替え期間の利用者配慮は。

答

遺骨移動など約2年を見込み、解体から新築までの具体的な方法や進め方と、受益者負担額の方針について計画策定され次第、速やかに加入者にお知らせし、周知に十分な期間を確保するように努めていきたい。

問

日時野、西福岡の人口急増に対応する福岡中学校の建設計画は。

答

将来的な教室不足と老朽化対策のため、校舎改修と増築工事をあわせて行う必要があり、様々なプランを検討する為に、本年度は整備基本設計を行っている。

問

児童生徒数のピーク後を見据えて、高齢者福祉施設としても利用できるコミュニティ・スクールを考慮した新築計画は。

答

建替えも含め、トータルコストやピーク後の対応を検討し、方針が固まり次第、議会に報告する。



老朽化した市営納骨堂



豆田 優子

相談窓口の時間短縮 と情報の共有を

事務改善を行うと共に
調査研究する

問 相談窓口は、幾つにも分かれている。ライフステージごとにその日常を相談するところは違っている。相談窓口ごとに状況を説明するため、相談時間が長時間になっている。担当別に持っている情報の共有化はどうなっているのか。総合的相談窓口の設置を考えられないか。また、成長・相談内容を個人が記録できる宇城市の「よかとこファイル」の様なものの導入は出来ないか。

答 乳幼児から成人までの成長の記録などは、複数の部署で掌握しており、共有はできていない。手続きについて事前に知らせ、準備し



子どもの特徴が“よかとこ”

ていただくことで、相談時間の短縮を図ることもでき、負担軽減ができるものと思われるので、事務改善を行う。「よかとこファイル」については、担当課で、宇城市に話を聞くなど、調査研究をさせていただきたい。

▼多様な性の人権教育について

問 今夏、職員研修では当事者を講師に研修会をしている。大人が多様な性への正しい知識を持つことが重要だと思う。市民への啓発は、

答 知識は得ることは必要であるが、どんな差別も許してはいけないという、人権感覚を高揚させていくのが、我々の役目だと思う。



米山 信

子育て世代包括支援 センター設置は

平成32年度末までに
必ず設置する

問 母親に対し、妊娠婦から子育て期にわたる切れ目のない支援のための拠点として、国は同センターの設置を平成32年度末までに全国展開を目指している。本市は平成32年度末までに設置できるのか。

答 拠点としてのセンターは、平成32年度末までに必ず設置する。

問 私は議会で子育て支援に関し、療育と教育を一元化した部署を設置するよう再三求めてきた。発達障害・特別支援教育について、乳幼児から小中学生までの一貫した支援体制が必要だからである。同センター設置に伴い、療育と教育



現在の子育て支援センター「なかよし」

を一元化した部署をセンターに設置する考えはないか。

答 子ども行政については、教育委員会と市長部局の間で障壁がある場合、部局を超えた組織機構を考慮しなければならぬ。今、総合計画を作成中であるが、その総合計画の中で現状の組織を検証し、見直すことになる。

問 暫定措置として、小学校・学童保育への臨床心理士による支援体制ができる予算処置を求める。

答 現在来年度予算の査定中であるので、再度ヒアリングを実施する。



永山 麗子

健康で安心して 暮らせる取組みを

他市町村も調べ、すぐ
取組める内容でしたい

問

国民の健康寿命延伸実現の為にデータ分析に基づき効率の良い保険事業をしていたが、保険者努力支援制度の創設で、医療費抑制に努めている自治体は高得点となり、優先的に補助金が配分される。そこで、大分県日田市のように、ポイントサービス事業をしては。

答

他市町村の状況もよく調べ、市民に魅力ある内容に発展させ、すぐに取り組める内容で始めたい。

▼市民に喜ばれる図書館整備を

問

本は人に読まれてこそ価値が生まれる。地域貢献できる図書館づ



日田市健活ポイントサービス事業

くりに取り組んでほしいもの。

①移動図書館の考えは②10時からの開館を③「図書館の応援団」を作っては④社会人や障がい者向けサービスは⑤「開けてビックリ本の福袋」や分かりやすいブックリストで、保護者向けの啓発を⑥入口ゲートや自動貸出機等、利用者に安心を与えているものは。また、知的欲求を満たす場所にするため、司書に研修の機会を。

答

①必要性はない②少なくとも1年間はそのままで③図書館運営協議会の中で諮る④充実に努めている⑤参考にし、喜んでいただけるよう推進する⑥読書ノート等、早急に方向性を見出す。司書には、県や団体の研修がある。



大久保 三喜男

産廃関連資材置場 拡張は認めないで

現行法で規制すること
は困難である

問

五反田地区にある産廃関連の資材置き場で三度目の火災が発生。自治会は安全・安心な暮らし、自然環境の保全などを求め全会一致で反対を決議し、資材置き場拡張に反対の運動をすすめている。

農地転用を認めないよう農業委員会に求め審議されているが継続審議中である。

世界遺産関連での拡張でもあり、景観計画からみても五反田地域に産廃関連の資材置き場は周辺の景観と調和、良好な車窓風景にもそぐわないものである。市として、地域住民の声を受けとめ、これ以上産廃関連施設の拡張を認めない姿勢を示していただきたい。

答

産業廃棄物の処理及び清掃に関する関係法令に従って対処するので現行法で規制することは困難である。景観上の問題は文化財保護法に基づく以外の地域なので拡張・撤去は認めないとは言えない。

▼塩害被害の対応を

問

平成27年の水門事故で農作物被害が発生。損害賠償で解決していたが一部の耕作者より裏作被害の賠償を求められている。他に被害者がいるので市の対応を求める。

答

裁判中であり裁判所が判断すると思う。他に被害者がいれば話を聞くが補償は完了していると思っている。



三度目、資材置き場の火災



永島 直行

マムシ対策として 早急に暗渠排水を

今提案があった暗渠に
ついては現地をみる

問

勝浦小運動場の東側にマムシ注意という看板があった。ここは常に湿気があり側溝を設置すべきと要望したが未だ無い。学校にこの様な所があるのは安心して運動や遊びが出来ない。早急に改善すべきと考えるが暗渠排水等で対策を。

答

勝浦小の周りの部分については確認したら土砂で詰まっている状態。排水が非常に悪い状況である。通常は側溝の清掃あるいは砂上げで対処している。暗渠排水はグラウンドの整備や学校を作る時にやっている。今提案があったのでどの様な形でどの部分に暗渠排水をすればいいのかみてみたい。

問

市道の中央線、側線、横断歩道の線が消えている所が多く見受けられる。勝浦小の通学路、大石下塩浜口のバス路線等福津市全体で相当ヶ所あると思う。運転に支障をきたし危険である。早急に調査し整備すべきと考えるが。

答

交通安全施設に関する地元要望を行い現地を把握している。黄線や横断歩道については警察に要望している。市道のライン管理については、言われるように市内何ヶ所かそういう所が見受けられる。定期的、計画的な調査をし対応を考えていきたい。

▼市道の維持管理について



校庭の端にあった立看板

積極的に様々な議会改革を進めてきた 岩倉市議会並びに袋井市議会の議会運営と議会活性化の取組み

議会改革の取組みは、全国的に進んでいる。議会基本条例による議員の災害時の対応、議会報告会の開催、各種団体や中学生から大学生との意見交換会、常任委員会、特別委員会の会議録システムによる公開など愛知県岩倉市議会、静岡県袋井市議会の取組みについて視察研修を行った。

(議会運営委員会所掌事務調査)

岩倉市議会では、「議員力より議会力」をキーワードに、議会基本条例制定に向けて、機関としての議会の能力を把握することから始めたことや「やれることからやっていこう」という説明に、岩倉市議会における課題は議会の機能強化であり、議会事務局の強化、議会サポーター制度を導入してはどうかなど門戸を広げ、より多くの人々から意見をいただくため要綱を作成している。

本市議会でも議会のあるべき姿の議論を通じ、市民理解の必要性を感じた。

袋井市議会では、市総合計画基本構想及び同基本計画について議会の議決すべき事件とするよう条例を制定。長期間の計画に縛られることなく市長の任期に沿ったコンパクトプランなどを作成し、確実に実行しつつ市民サービスの低下にならない工夫がある。また、平成30年2月定例会からペーパーレス会議システムを本格稼働としている。本市議会でもタブレット端末を使用したペーパーレスの検討が必要と考える。議会内の利便性・経済性・情報の機敏性など充実していくことに期待したい。

先進的図書館の運営・ICT活用教育・英語 特区とグローバル人材育成を視察した。 障がい者配慮や産学官民との連携が必要

広島県福山市図書館は、7館と1分室、移動図書館が1台ある。業務委託や指定管理者制度は導入せず、正規と嘱託職員でローテーション勤務。学びと生活の質を豊かにする施設として、市民ニーズへの的確な対応を図り、高齢者や障がい者へ環境整備と地域コミュニティ重視である。

(総務文教委員会所管事務調査)

広島県竹原市のICT活用の授業は、焦点化・視覚化・共有化に優れているが、科目においてはICTを活用しないほうがわかりやすい単元もあり、教科書活用とのバランスが重視される。本市でICT活用のハードウェアを環境整備するには、電子黒板、タブレット型端末機など約4億円にソフトウェアの整備費用も発生するが、第2期教育振興基本計画の目標達成に向けた取組みを早急に検討すべきである。特に効果が高いとされる特別支援学級で優先的な取組みを期待する。

岡山県総社市での英語特区の指導方針は、多くの時間と生の英語に触れることで本物の英語力を身に付けさせることである。文科省は、平成32年度から英語の授業数を増やす方針を示して



市民に愛される移動図書館

民間事業者による移動販売事業、 市と社会福祉協議会が協力。 無償ボランティアによる農業支援

大分県杵築市では、商店やスーパーの閉店により高齢者の買物が著しく困難な地域に対して民間事業者が移動販売を行っている。特徴は市からの補助金がないこと。

大分県大分市では、農繁期の労働力として無償ボランティアによる活動が進められていた。

(建設環境委員会所管事務調査)

杵築市では、平成28年度より買い物弱者支援「くらしの」よりどころ「づくり」事業として民間事業者（生協・コンビニ）と大分県社会福祉協議会で「買い物弱者支援による地域活性化連絡会」発足。平成29年1月に杵築市社会福祉協議会を加えて4者の包括連携協定を締結。この事業には助成金を出していない。住民自治協議会は店がなく高齢化が進んでいることに危機感を感じ、販売事業者は社会貢献を目的に協力していた。市はお互いの橋渡しを行っている。

大分市の「援農かつせ隊」活動は、農村地域の人と都市部地域の人のつながりを持つためにはじめられた。受入れは認定農業者の方で「援農かつせ隊」のメンバーは無償ボランティア。応募は市報・新聞を活用。現在



杵築市視察

賛否表

結果	議員名 議案名	中村	永島	西野	蒲生	横山	豆田	戸田	榎本	吉水	江上	井上	米山	永山	大久保	碓野	永島	梶村
		清隆	誠也	正行	守	良雄	優子	進一	博	喜美子	隆行	聡	信	麗子	三喜男	九州男	直行	公彦
採択	請願第1号 旧魚正跡地の処置に関する請願	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	/
不採択	請願第2号 市議会議員選挙の年末年始に実施される日程を変更することを求める請願	●	○	○	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	/

※議長は可否同数の時以外は表決に参加しません

○は賛成 ●は反対 ーは欠席

下記議案については全員賛成で承認・可決・同意

- 承認第5号 専決処分した事件の承認について(平成29年度福津市一般会計補正予算(専決第2号))
- 議案第32号 平成29年度福津市一般会計補正予算(第3号)について
- 議案第33号 平成29年度福津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第34号 平成29年度福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第35号 平成29年度福津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第36号 平成29年度福津市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第37号 福津市ボランティアセンター条例の制定について
- 議案第38号 福津市税条例を改正することについて
- 議案第39号 福津市営住宅管理条例を改正することについて
- 議案第40号 福津市情報公開条例及び福津市個人情報保護条例を改正することについて
- 議案第41号 福津市学童保育所条例を改正することについて
- 議案第42号 福津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例を改正することについて
- 議案第43号 福津市自転車等駐車場及び自動車駐車場の指定管理者を指定することについて
- 議案第44号 福津市体育施設及び福津市武道館の指定管理者を指定することについて
- 議案第45号 字の区域の変更について
- 同意第24号 副市長の選任につき同意を求めることについて

議会を傍聴してみませんか

3月定例会は、平成30年2月26日(月)9時30分からの予定。

託児サービスがあります! (中学生以上であれば傍聴席へ入ることができます)

生後6ヶ月から就学前までのお子様をお預かりしますので、是非託児サービスをご利用ください。
傍聴希望日の5日前まで(土・日・祝日除く)のお申し込みが必要です。

本会議の様子をインターネットで生中継・録画配信しています!

録画中継は議会閉会後、概ね10日以内に配信します。

【アクセス方法】福津市議会 ⇒ 議会中継・録画配信

議会にアクセスしよう!

福津市議会

検索

詳しくは、議会事務局(43-8144)にお尋ねください。

編集後記

12月定例会で市長公約の女性副市長が誕生した。防災など緊急事態に備えるため、福津市に住居を確保し職務に邁進するという副市長の決意を聞き安心している。また今後のキャリアや人脈を活かして今後の本市の発展やPRに寄与してほしいと思う。副市長決定前の講演会「自分らしいキャリア・仕事もライフモ」を聴講したが、その講演で興味を得たのは災害援助の支援物資の話で、女性らしい感性を持った支援の提案を聞いて感動した。その感性を福津市政にアドバイスし根付かせてもらいたい。

永島 誠也

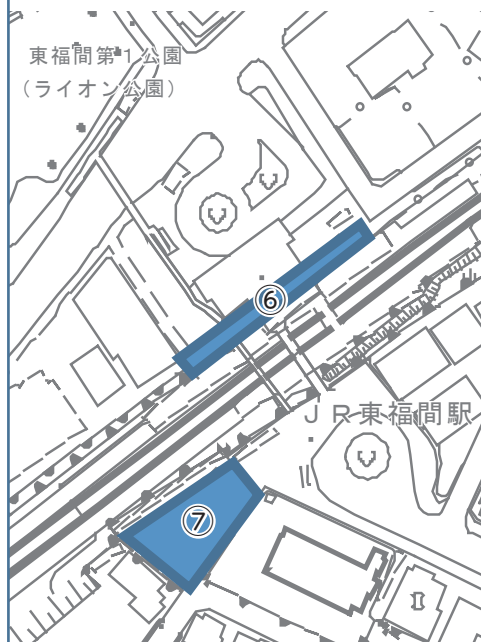


議会広報調査特別委員会

委員長 発行責任者
副委員長 委員

永井横永豆蒲梶
山上山島田生村
麗良誠優公
子聡雄也子守彦

東福間駅周辺



カメラアステージ内津屋崎駐輪場



場所	施 設 名	開場時間	収容台数	利用料金				休場日	
						原付自転車	自転車		
福間駅	みやじ口第1号駐輪場	AM5時～ 翌日 AM 1時	283	定期利用	学生	1箇月	1,020	720	なし
	みやじ口第2号駐輪場	AM6時～PM10時	343			3箇月	2,670	1,740	
	さいごう口第3号駐輪場	AM5時～ 翌日 AM 1時	173		一般	6箇月	4,620	3,080	なし
	さいごう口第4号駐輪場	AM6時～PM10時	651			1箇月	1,950	1,330	
				6箇月	9,250	6,170			
				一時利用	1日(1回)	150	100		
東福間駅	駐輪場(若木台側)	24時間	450	無料				なし	
	北口駐輪場		250						
カメラア ステージ	津屋崎駐輪場		70						
福間駅	さいごう口自動車駐車場			10	20分までは無料。1時間ごとに100円。 ただし午前0時から午前6時までは2時間ごとに100円。				